

# きたつる

## Forest 北都留森林組合

〒409-0112 山梨県上野原市上野原5273-2 電話0554-62-3330



平成29年5月31日(水) 第34回北都留森林組合通常総代会(上野原市モジホール)

波多野晃組合長 挨拶

### 目次 第61号

- 第34回北都留森林組合通常総代会開催
- 地域材の手づくり積木を上野原市と小菅村の保育所へ
- 平成30年4月採用予定の月給制新卒若者正職員募集
- 平成29年7月27~28日 農林中金「森力基金」発表
- 山梨県森林環境税「森林環境保全基金事業」第2期計画
- 林野庁「森林作業道作設指導者・監督者研修」開催
- 大月バイオマス発電所の経緯
- 新刊紹介「林業がつくる日本の森林」藤森隆郎著(築地書館)
- 7/18~7/26 総代地区運営協議会開催
- 新人紹介 池田拓司

### 大月バイオマス発電所の交渉経緯

平成28年4月5日に地域林業活性化を目的に、大月バイオマス持続的活用協議会が設立され、当組合を含む郡内3森林組合をはじめ郡内林業関係者が集まり協議を継続しております。これまでの交渉経緯を次の通りご報告します。

①燃料供給に向けてチップ工場建設の可否について(継続協議)  
現在、建設費の試算、建設場所、運営方法などについて協議中

②燃料買取価格交渉(継続協議)  
木質バイオマス発電側の買取単価が決まらないと供給できる原料がどれだけ出せるか約束できないので早めの買取価格提示を要請中

③燃料の品質について(継続協議)  
枝葉、根っこ、皮など丸太以外を燃料として販売できるのか交渉中

平成30年3月開業予定の県内最大級の木質バイオマス発電所へ地元林業界がどのように対応していくことができるか、引き続き林業関係者、山梨県、大月市など力を合わせて交渉を継続していきます。用材として活用できない悪い材を燃料として販売することができるようになれば森林組合にとって新たなビジネスチャンスが広がります。森林所有者へ販売代金を還元することがあります。引き続き組合員にプラスとなるようにしっかりと交渉にあたってまいります。

### 新刊紹介「林業がつくる日本の森林」藤森隆郎著(築地書館)

日本の林業の歴史や現状を的確に捉え、問題点を解説し、林業関係者が目指すべき方向性を明確に示されています。参考になる書籍をご紹介します。

好ましい森林とは、気象災害に対して安全性が高く、生産性に優れた長期的に見て、需要への弾力が高く、生物多様性が高く、景観的にも優れ、かつその維持管理が低コストで済む森林である。ごのような森をつくるのか、その目標林型が大切である。経済林は再生産力を落とさない長伐期で持続可能な森林管理とし、環境保全との調和を常に考えながら需要への弾力性が高く、利用価値の高い材の生産を持続的にできる森づくりを目指したい。生活林はナラなどの有用樹を育て主に木質バイオマスエネルギーやキノコ原木などの生産を短伐期で繰り返し利用できる森づくりを目指したい。環境林は炭素貯蔵量が高く、生物多様性が高く、土壌構造が発達し、水源涵養機能が高い老齢段階の森をモデルとした森づくりを目指したい。



### 総代地区運営協議会開催

7月18日から26日、各地区の理事・総代の皆様から今後の組合経営、地域の森林整備の在り方等につきましてご意見・ご要望をお聞きするために地区運営協議会を開催します。多くの役員の皆様のご参加をお願い申し上げます。理事、総代の皆様には、大変お忙しい中、誠に恐縮ですが追って開催通知を送付させていただきますのでご確認の上ご参加頂きますようお願い申し上げます。

- ①役員定数の見直しについて
- ②平成30年4月総代選挙について
- ③各地区からの要望について
- ④林業研究会設立について
- ⑤新卒若者採用について
- ⑥その他 報告事項

### 新人紹介 池田拓司 25歳



平成29年4月1日付で新たな職員が採用されました。愛知県豊橋市出身でこの春に富山大学大学院を卒業しました。ご縁があり今年度から北都留森林組合の新入社員としてお世話になります。池田拓司と申します。林業に関しては右も左もわからない状態からの始まりですが、一刻も早く林業のプロとなり皆様のお力になれるよう努力していく所存ですので、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

### 第34回通常総代会開催

平成29年5月31日上野原市文化ホールにおいて、大勢の総代の皆様、並びに杉本光男山梨県森林組合連合会長をはじめ県市村行政関係機関のご来賓方々のご出席のもと第34回通常総代会が盛大に開催されました。

議長は、小菅地区総代の木下正之さんが務められ、総代会における全ての議案は可決承認されました。

平成28年度事業報告）抜粋  
平成28年4月には、当組合役員選挙があり、第12期役員が決定し、その中から波多野晃組合長が再選されました。

4期連続の黒字となる事業総収益二二九、五六六千円、経常利益一〇、九三五千円を計上することができました。

平成29年度事業計画）抜粋  
経営理念「森を中心とした持続可能な流域循環型社会の実現」に向け、空従業員の仕事の幸福を追求すると同時に組合員、山村地域社会の進歩発展に貢献する一県下の森林組合を目指し、今日よりは明日、明日よりは明後日と、常に改良改善を絶え間なく続け、創意工夫を重ねながら創造的な仕事を継続していきます。これからは役員が「丸」となり無理・無駄・ムラを無くす」と情報・技術・価値観の3つの共有一を言葉に更なるスピード感を持った経営革新を進め、組合員と地域社会に喜ばれる「超一流の林業プロ集団」を目指して努力して参ります。

総代の皆様、組合員の皆様におかれましては、引き続き森林組合運営へのご支援とご理解の程何卒よろしくお願い申し上げます。

### 農林中金「森力基金」発表

北都留森林組合は、平成28年度農林中金庫が荒廃した民有林の再生や森林の多面的機能の持続的な発揮を目的に設立した「公益信託農林中金森林再生基金（通称 農中金力基金）」の第2回に山梨県では初、全国でも5か所のうちのひとつとして事業が採択され事業を実施しました。

事業名 多摩川・相模川流域における森林資源の循環活用モデル事業として上野原市鶴島地区矢ノ根団地において、森林施業の今日的課題の一つである「施業集約化」や「搬出間伐等」の取組を更に加速化させるためのモデル事業に着手しました。これまで、当組合で取り組んできた森林作業道開設にプラスして、今事業では、架線系集材システムを積極的に活用した間伐材搬出に挑戦しました。ご協力を頂いた島田地区の組合員の皆様、大変有難うございました。

北都留森林組合は、その成果を来る平成29年7月27日（土）28日に東京で全国から五百名近くの森林組合関係者が集まる「第11回森林組合トップセミナー」で発表する機会を得ました。当森林組合の取り組みを全国に向けて発信して参ります。



### 地域材の手づくり積木を上野原市と小菅村の保育所へ納めました

平成29年2月上野原市のこども園に五千個、小菅村保育所へ四千個の地域材であるヒノキとスギを使い制作した積木をご注文頂き納めさせて頂きました。

上野原市では、波多野晃組合長、江口英雄市長、助成金を頂いた農林中央金庫出席の基、地元の子供たちに直接手渡す寄贈式が制作された積木で歓声を上げながら遊ぶ姿に感動しました。このように、子供たちに木に触れ合う機会を与えていくことを「木育」といいます。子供たちの喜ぶ顔を見ることのできる機会は私たち森林組合職員にとって何より嬉しいことです。

これから地元の子供たちが地域材の積木で遊びながら成長していくことを思うと、なんだかとても嬉しい気持ちでいっぱいになります。

なお、この積木は個人への販売も開始しました。ぜひ、ご家族へのプレゼントにご検討下さい。

積木への問い合わせ先

積木 小セツト 五十個入）六千円  
積木 大セツト 百五十個入）二万五千円

北都留森林組合  
電話 0554 62 3330



### 山梨県森林環境税・森林環境保全基金事業 第2期計画について

山梨県では、土砂災害の防止や洪水の緩和、地球温暖化防止などの公益的機能を持つ貴重な財産である森林を県民全体で守り育て、次の世代に引き継ぐために平成24年4月から森林環境税を創設し、第1期5年間、森林整備を行ってまいります。これから第2期がスタートしますが主な計画事業は次の通りです。

#### 一、多様な公益的機能の維持・増進を図る森づくり

荒廃した人工林の間伐を実施することにより、針広混交林へ誘導します。また、長期間放置され、草木や竹の繁茂により荒廃した里山林における不利用木や侵入竹の除去・林内集積、伐採後に森林の状態に回復していかない林地における広葉樹植栽などを実施します。

（一期計画面積 四三九〇HA）  
二、木材・木質バイオマスの利用促進  
学校施設等に県産材を使用した学習用品を導入するための経費の一部を助成します。

#### 第一期計画（四七〇組）

- 三、社会全体で支える仕組み  
県民参加の森づくりを進めるための普及啓発事業等を実施します。
- ① 県民参加の森づくり推進事業
- ② 森林体験活動支援事業
- ③ 森林環境保全基金運営委員会開催費

北都留森林組合では、このような山梨県の計画に沿って「健全な山梨の森づくり」を県と協力しながら進めて参りますので皆様のご理解とご協力をお願いします。

### 平成30年4月採用予定 新卒若者正職員募集開始のお知らせ

北都留森林組合では、平成30年3月卒業予定の新卒若者正職員募集を開始しました。組合員のご親族、お知り合いの方など森林組合の仕事にご興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介頂きたくお願い申し上げます。

採用条件としては、森林組合の仕事を一生涯の仕事としてより長く勤めて頂くことを前提として平成30年3月学校卒業予定者、もしくは25歳以下の若者に限り募集とさせて頂きます。

就職希望者は、履歴書を本所までお送り下さい。随時、個人面接をさせて頂きます。

就業条件等、詳細につきましてはお近くのハローワークでご確認下さい。

北都留森林組合HPからもご確認することが出来ます。また、直接、電話でお問い合わせも頂いても結構です。

採用問合せ先 北都留森林組合本所

電話 0554 62 3330

北都留森林組合HP

https://kiaturu.wix.com/kiatori

※募集人員 若干名



### 林野庁「森林作業道作設指導者・監督者研修」開催

平成29年6月27日に林野庁森林技術総合研修所から依頼のあった「森林作業道作設指導者・監督者研修」が開催され当組合が講師として北は北海道網走から南は九州鹿児島県まで全国から集まった24名の国有林森林官や各県林務職員に対して当組合が開設した丹波山村と小菅村の森林作業道を見学案内し、森林作業道の作設方法を指導させて頂きました。

森林作業道づくりの三要素は、①壊れない道を②安い開設費で③使い勝手の良い道をつくることを心掛けるなどこれまで学んできた道づくりのノウハウをお伝えしました。森林作業道の費用とは、けし開設費だけではなく、維持管理費や木の搬出費を含めたトータル費用で考えていかなければならないなど道に対する考え方を説明しました。

また、何の為に山に道をつつけるのか、組合員の山の資産価値をいかに高めるのかといった哲学や理念をしっかりと持って仕事をしていくことの大切さ、目的を明確にして木材生産と環境保全の両立した調和のとれた林業を目指していくこと等日々の仕事に対する森林組合の姿勢などを説明しました。

